

学校教育目標

三つの輪が

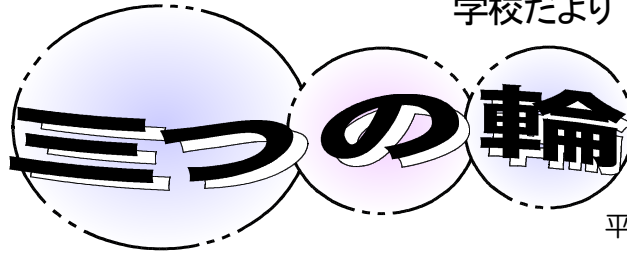
ひろがる つながる

やさしく

かしこく

げんきよく

学校だより No3 PTA総会版



平成30年4月18日

学校経営の方針 **気づき 考え 行動する**  
**なかまと学ぶ 笑学校**

- 仲間とふれあい、明るいいあいさつや笑い声が響き渡る学校
- 自立する姿に向かって、じっくり活動できる学校
- 基礎・基本の確実な定着を図り、子どもの可能性を引き出し、個の伸びを実感できる学校
- 持続可能な社会に対応し、地域に開かれ、保護者・地域と「共育」し、信頼に応えられる学校

1 目指す子ども 子ども一人一人を大切にし、児童理解をベースにする学校づくり

①やさしさの輪(徳) → **思いやりを持ち、心が動く子ども**

- 人と関わり、温かい心で接し、励ましあえる
- 仲間と喜びや苦しみを分かち合える
- 明るいいあいさつや受け答えを交わし、目が輝いている
- 命の尊さと美しいものに心動かし、大切にすること (関心感動感謝)

②かしこさの輪(知) → **よく考え、しっかり伝えあう子ども**

- 主体的にめあてをもって学習し、より高まろう態度
- 質の高い学び合いを通し、自分の考えを生かして学ぶ授業
- 基礎基本が定着させる授業と補完する取り組み
- 自分の思いや考えを豊かに表現できる指導の工夫

③げんきの輪(体) → **心や体を進んできたえる子ども**

- 確かな目標やめあてをもって、ねばり強くチャレンジする
- 人の役に立ち、自立する力を身につける
- きまりや約束を守り、安全な生活ができる
- 自分の健康に関心をもち、進んで心身を鍛える

2 家庭や地域との関係 → 信頼の関係性

- 温かい空気をつくる職員室
- 地域・保護者の要望や願いに耳を傾け、ともに育とうとする姿
- 確かな理念と確実な実践に裏付けられた説明責任

3 教職員と組織の関係 → 和をもって創る

- 常に児童理解に立ち、一人一人のよさを伸ばす指導・支援ができる教師
- めあてや目標に向かって努力する自らの姿を児童に見せられる教師
- ポジティブで、バランス感覚を大事にし、配慮のできる教師

## 話題

1 頭がいい子ども と 成績がよい子ども

2 幸せになる子ども

3 魚を捕ってあげるのではない、魚の

を教える

4 育てるとは (聞き方のしつけ or 聴き方を鍛える)

(理由をつけて迷う習慣) あきらめない 決めつけない

## ポイントとなる言葉かけ

1 YES NO で答えられる言葉かけ

2 未来プラスの言葉

